

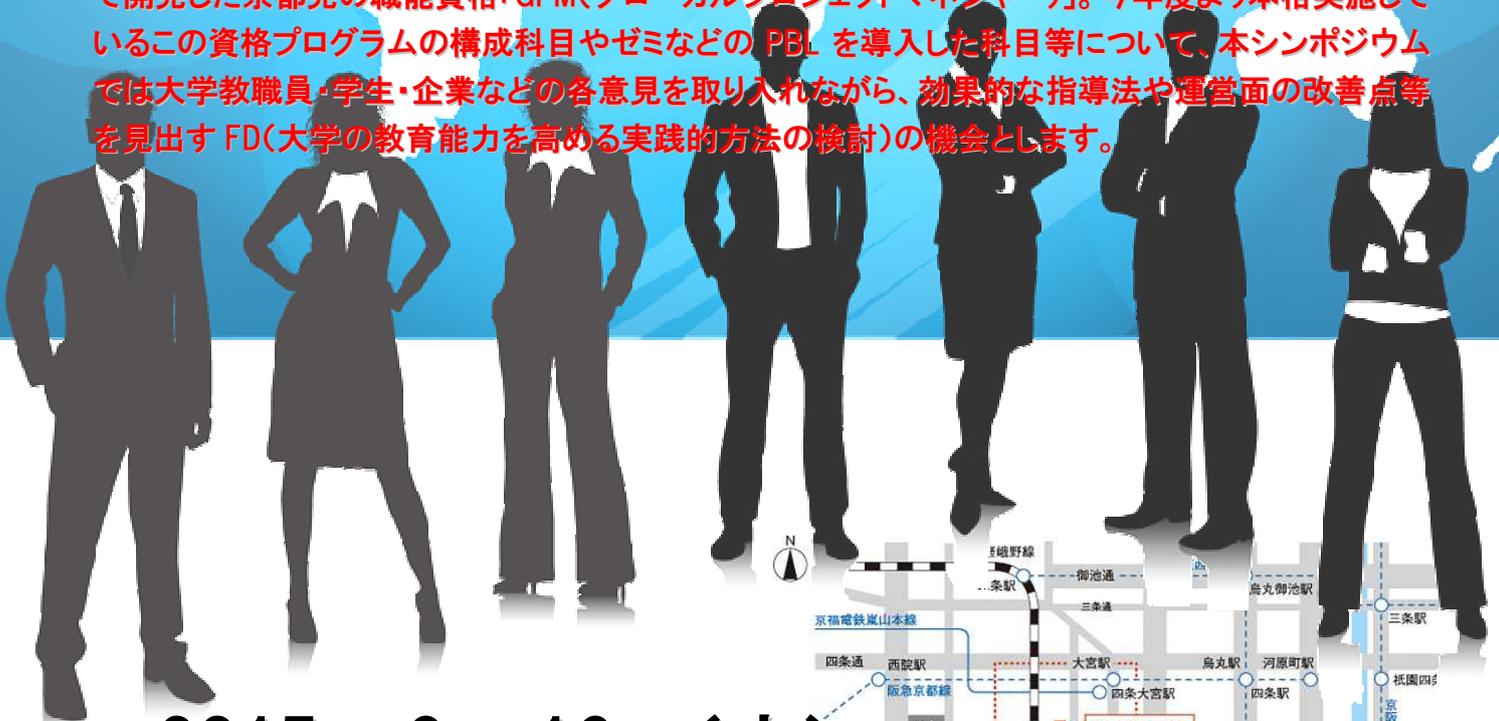
**入場無料
申込要**

人材育成を考えるシンポジウム

自分で考え、行動できる人材を 育むために

～グローバルのコンセプトとPBL 教育の意義を問う～

文部科学省の選定事業として、京都産業大学をはじめとする連携5大学と経済界・行政等によって開発した京都発の職能資格「GPM(グローバルプロジェクトマネジャー)」。今年度より本格実施しているこの資格プログラムの構成科目やゼミなどのPBLを導入した科目等について、本シンポジウムでは大学教職員・学生・企業などの各意見を取り入れながら、効果的な指導法や運営面の改善点等を見出すFD(大学の教育能力を高める実践的方法の検討)の機会とします。



日時:2015年9月16日(水)

10:00~13:00

会場:むすびわざ館 大教室3-A

定員:教育関係者・企業関係者等 80名

むすびわざ館へのアクセス

<http://www.kvoto-su.ac.jp/outline/shisetsu/musubiwaza/access.html>

JR 丹波口駅 徒歩4分/阪急大宮駅 徒歩7分
京福 四条大宮駅 徒歩7分

むすびわざ館には駐車場はございません。お車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用ください。



プログラム

進行：京都文教大学 フィールドリサーチオフィス 矢島 信

10:00～ 開会挨拶	京都府立大学 副学長 小沢 修司
<p>10:10～ 基調講演</p> <p>講演テーマ 『社会が求める人材、 そのために必要な ことは何か』</p>	<p>慶應義塾大学 総合政策学部教授 兼 政策メディア研究科委員、博士(経営学) 飯盛 義徳 氏</p> <p>いさがい よしのり 飯盛 義徳 氏</p> <p>佐賀市生まれ。長崎私立青雲高等学校、上智大学 文学部を卒業後、1987年、松下電器産業(株)入社。富士通(株)出向などを経て、1992年、慶應義塾大学大学院 経営管理研究科修士課程入学。1994年、同校修了(MBA取得)後、飯盛教材株式会社入社。1997年、常務取締役。2000年、佐賀大学 理工学部寄附講座客員助教授。また、アントルプレナー育成スクール「鳳雛塾」を設立。2002年、慶應義塾大学大学院 経営管理 研究科博士課程入学。2005年、慶應義塾大学 環境情報学部専任講師。2007年、博士(経営学)。2008年、同大学総合政策学部准教授、2014年、同大学総合政策学部教授、現在に至る。</p> <p>専門は、プラットフォームデザイン、地域イノベーション、ファミリービジネスなど。(2015年04月現在)</p> 
<p>10:50～ 取組事例①</p> <p>中谷ゼミ 『ゼミにおける PBLの進め方』</p>	<p>京都産業大学 法学部法律学科3年次生 杉山 裕之</p> <p>本ゼミでは常時、市中および里山で複数の多彩なPBLが実践されています。同時にリーディングマラソンや個人発表も義務づけ、知的鍛錬と実行力涵養の両立を図っています。こうしたことを可能にする方法論もまた、学生が主体的に編み出したものです。プロジェクト内容の紹介だけでなく、ゼミの組織としてのあり方・動き方、社会人との接し方、という実際のノウハウも含めて、学生自身が実例を交えてお話しします。</p>  <p>里山での活動の様子▲</p>
<p>11:05～ 取組事例②</p> <p>杉岡ゼミ 『経済界と連携した 産学連携による グローバル人材育成』</p>	<p>京都府立大学 公共政策学部公共政策学科4年次生 山下 美早貴</p> <p>本ゼミでは「臨床政策」「ソーシャルデザイン」「PBL」をキーワードに、基礎的な座学をしつつ、実際に現場に出て、大学の地域力と地域社会の教育力の交流・交感・交換をしていくことを通じて、政策づくりやプロジェクトマネジメント、地域公共人材としての必要な力を養っています。</p> <p>本報告では、とりわけ京都中小企業家同友会と毎年共同実施してきた産学連携プロジェクトとゼミとして企画立案したキャリアイベントについて報告します。</p>  <p>京都中小企業家同友会との対話▲</p>
<p>11:20～ 取組事例③</p> <p>政策実践・探究演習(海外) 『ドルトムント工科大学との 協働学習』 担当教員:村田 和代 阿部 大輔</p>	<p>龍谷大学 政策学部3年次生 中村 花菜、岡根 有里</p> <p>本演習は、海外の大学と連携し、課題解決型学習をベースに国際的な視点をとり入れたまちづくりの提言を行うことを目指す協働学習です。2014年度後期から2015年度前期にかけては、都市政策・都市計画をテーマとした4ヶ月間の事前学習の後、ドイツ(ドルトムント)に約2週間滞在し、ドイツ・ドルトムント工科大学の学生とのフィールドワークやワークショップを通して、英語による協働学習を行いました。</p>  <p>ワークショップの様子▲</p>
11:35～ 休憩	
<p>11:45～ パネルディスカッション</p> <p>テーマ 『10年後の京都を デザインする～GPM がもたらすもの～』</p>	<p>パネリスト: 慶應義塾大学 総合政策学部教授 飯盛 義徳 氏 京都府立大学 公共政策学部講師 杉岡 秀紀 龍谷大学 政策学部教授 村田 和代 佛教大学 リサーチアシスタント 長光 太志</p> <p>コーディネーター: 京都産業大学 法学部教授 中谷 真恵</p>
12:50 閉会挨拶	京都産業大学 法学部長 戸田 五郎

申込み方法:

メール件名を「9/16 人材育成シンポジウム 申込」とし、メール本文に所属・氏名・連絡先を記載のうえ、右記メールアドレスまで送信ください。

主催:大学間連携共同教育推進事業

「産学公連携によるグローバル人材の育成と 地域資格制度の開発」連携5大学

(京都産業大学、京都府立大学、京都文教大学、佛教大学、龍谷大学)

問合せ: 京都産業大学 法学部事務室

TEL: 075-705-1458

E-mail: hougaku-jim@star.kyoto-su.ac.jp

